

## キャンパスのイチョウ並木

レポートにも何回か書いたが、大学のキャンパスはコンパクトながら、古墳が2つもあり季節の移り変わりを実感できる。春の桜から新緑、そして秋の紅葉へとつづく。研究室のベランダから眺める雪景色の古墳も、なかなか味わいがある。

秋に黄色に輝く正門付近からつづくイチョウ並木が1ヶ月ほど前、ぱっさり幹や枝が切り落とされた。「通報」により現場を見に行ったが、業者が切り落とした大きな枝な

どが無造作にころがっていた。イチョウ並木の景観は一変していた。突然の出来事と無残な並木を見ていて、



なんだか心が痛み悲しくなった。

確かに秋には、大量のイチョウの落ち葉に悩まされる。毎朝、大量の落ち葉をかき集

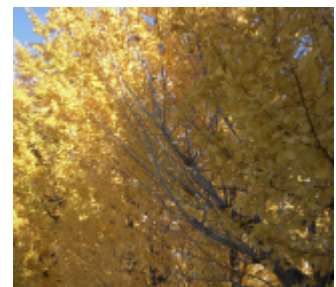
めている近所の人たちの姿を見た。風で吹き飛ばされる落ち葉

で大学に「苦情」も寄せられたことであろう。その一方で銀杏

を一杯ひろい集めたり、イチョウの下を散歩する近所の人達を

よく見かけた。落ち葉や枯葉の始末はやっかいだが、キャンパ

スのうるおいや景観という点から、なんとかならなかつたであ



ろうか。大学キャンパスの自然と緑、景観や美観保全に向けた取り組みについて注目し

ていきたい。

(2008年4月27日 記)